

平成 14 年度 地震動予測地図ワークショップ

- 地震調査研究と地震防災工学 社会科学との連携 -

平成 15 年 2 月 25 日

文部科学省では、昨年に引き続いて「地震動予測地図ワークショップ」を開催致します。これまでのワークショップでは確率論的地図に対する理解と知識を高めて共有化することの重要性と、多様な利用者の立場を想定したうえで地図の活用の広がりを意識した広報の必要性が認識されました。本年度は、これまでの議論を踏まえて「地震動予測地図」の作成に関する講演を行うとともに、作成者と利用者（行政、実務者、専門家、市民）の立場を意識した、会場からの意見を交えたパネルディスカッションを行う予定です。

主 催：文部科学省 共 催：独立行政法人防災科学技術研究所

日 時：平成 15 年 3 月 26 日（水） 10:30～17:00

場 所：コクヨホール（東京都港区港南町 1-8-35 Tel 03-3450-3712）

< プログラム >

I 部 講演

[午前の部] 10:30～12:00

10:30～10:40 文部科学省研究開発局地震調査研究課長あいさつ

10:40～11:00 地震調査研究推進本部の概要説明

11:00～11:30 内陸活断層および海溝型の地震の長期予測について

島崎 邦彦（東京大学・地震調査委員会長期評価部会長）

11:30～12:00 地震動予測地図における強震動評価について

入倉孝次郎（京都大学・地震調査委員会強震動評価部会長）

[午後の部] 13:00～14:40

13:00～13:30 確率論的地震動予測地図（試作版）について

文部科学省研究開発局地震調査研究課

13:30～14:10 地震動予測地図の活用について

廣井脩（東京大学社会情報研究所・政策委員会成果を社会に活かす部会長）

< 工学利用について > 亀田弘行（防災科学技術研究所地震防災フロンティア研究センター）

14:10～14:40 防災科研における地震動予測地図作成手法の研究について

藤原広行（防災科学技術研究所）

II 部 パネルディスカッション 15:00～17:00

「地震動予測地図の活用に向けて」

コーディネータ：中川和之（時事通信社）

パネリスト：青砥謙一（兵庫県防災監）、石川裕（清水建設株）、入倉孝次郎、亀田弘行、島崎邦彦、大門文男（損害保険料率算出機構）、廣井脩、藤原広行

参加費：無料 定 員：200 名

参加申込方法：氏名、住所、電話（FAX）番号、勤務先
を記入し、はがき又は FAX で下記へお申し込み下さい。
折り返し参加票をお送りいたします。

（応募期間 2月25日（火）～3月14日（金））

申込先：〒101-0064 東京都千代田区猿樂町 1-5-18

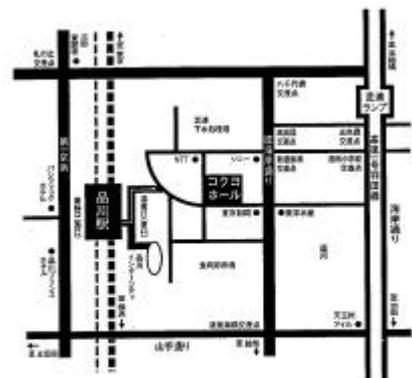
千代田本社ビル 5 階（財）地震予知総合研究振興会
地震調査研究センター WS 係

TEL：03-3295-1501 FAX：03-3295-1507

内容についての問合せ先：

文部科学省研究開発局地震調査研究課 WS 担当

TEL：03-5253-4138



● 品川駅中央改札口より徒歩10分・品川駅南口より徒歩1分
● 駐車場はございません。